

## 世界 TRIZ サイトプロジェクト (WTSP): 全世界の TRIZ 関連サイトのカタログを作成し維持しよう

中川 徹(大阪学院大学)、Darrell Mann (Systematic Innovation Network、英)、  
Michael Orloff (Academy of Instrumental Modern TRIZ、独)、Simon Dewulf (AULIVE、豪)、  
Simon Litvin (GEN TRIZ, LLC.、米)、Valeri Souchkov (ICG Training & Consulting、蘭)

### 概要

この 30 年余、TRIZ は旧ソ連圏を出て全世界に広まり、TRIZ 関連のさまざまな活動、達成結果、知識の蓄積などが容易に見えないほど大きくなっている。全世界で多数の研究者や実践者たちが TRIZ について活発に活動し、その活動と成果を学会やジャーナルや Web サイトなどで、発表・掲載していることをわれわれは知っている。ところが、TRIZ について典型的なインターネット検索をすると、あまり質の高くない情報の洪水のために、価値の高い情報資源が隠されてしまうのが実情である。そこでわれわれは世界 TRIZ サイトプロジェクト (WTSP) を最近開始した。その当面の目標は、全世界の TRIZ 関連サイトのカタログを作成することである。さまざまな国で優れた有用な Web サイトが (英語を含めて) 自国語で運用されている。だから世界各国で協力し、連携することが必要である。世界のサイトのカタログを共通語としての英語で一旦作り上げれば、それを諸国の言語に訳して世界中で共有できる。そのような情報共有は、TRIZ についての公共 Web サイトの世界ネットワークを作り上げることになるだろう。

既に日本の TRIZ 関連サイト 92 件を紹介したカタログを和文と英文で作成した。これをモデルにして海外各国でのカタログの作成を始めたところである。

### 内容説明

イノベーションの必要性が叫ばれ、インターネットの時代であるが、その代表的な方法である TRIZ が必ずしも一般に広がって行かない。Google や Yahoo で、TRIZ のネット検索をすると、膨大な数のサイトやページにヒットするが、その情報の大部分は「軽い、二次 (三次) 情報」であり、あまり質が高くない。この情報洪水の中で、重要で有用な情報が埋もれてしまっている。

中川は 2008 年に TRIZ リンク集 (日本 100 サイト、世界 120 サイト、説明付き) を作り、その経験から「TRIZ についての公共 Web サイトのグローバルなネットワークを作ろう」と提唱した。これらが TRIZ の信頼できる情報を効率的に参照可能にするやり方だからである。しかし、その後、TRIZ の推進者・実践者が新しく増大しているにも拘らず、多数の TRIZ 関連 Web サイトがばらばらに作られてきて、世界各国での公共 Web サイトの構築は進まず、TRIZ リンク集を 10 年間更新できなかった。

昨年 11 月に中川は世界の TRIZ リーダ約 100 人 (国内 2 人) にメールを送り、「世界 TRIZ サイトプロジェクト (WTSP)」を提唱し、賛同者の協力を得て活動を開始した。

その活動は、(1) 各国での重要・有用な TRIZ サイトを自国語で紹介・説明したカタログを作る。主要国では多数のサイトがあり、これだけでも複数の TRIZ リーダーの

協力体制が必要である。日本の場合では、Yahoo 検索で、TRIZ をキーワードにし、サイト内検索リンクを有効にして、約 400 件のヒットを得て調べた。そのうち約 70 サイトと、別情報からの追加サイトで合計 92 サイトを取り上げた。この各サイトを訪問し、その構成、内容、質などを調べて、紹介文を付けた。サイトの性格を分類し、特に活発な TRIZ 関連情報発信サイト 24 サイトを選定した。

(2) 各国のカタログの英語版を作る。世界の多数の国で翻訳作業を要する。また、全世界の人たちを読者に想定して、各国の精選サイト集にする。日本の精選 24 サイトの英語版カタログを作成済みである。

(3) 全世界の TRIZ 関連サイト集 (英語版) にまとめ、各国の主要サイトで掲載する。(準備中)。

(4) 世界の TRIZ 関連サイト集を各国の自国語に翻訳し、それぞれ各国で掲載する。

(5) これらの活動は、「公共 Web サイトのグローバルなネットワーク」の形成に繋がって行く。

これらの TRIZ 関連サイトカタログには、今まであまり知られていなかった有用なサイトがいろいろあることが分かる。世界の有用なサイトを知ることは重要である。

世界での活動は、6 名のグローバル共同編集者ができたが、各国での活動の出足がまだまだ鈍い。日本でも中川だけである。日本の TRIZ 関係者の理解と協力をお願いする。